

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
研究法概論		必修	1	2	後期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
中西 康祐 他	C310	knakanishi	水曜日 16:20~17:50		
授業の目的・概要	研究に携わる際の基本的な倫理を身に付け、研究に関する基本的用語、知識、デザイン、基本的統計的手法等について理解することを目的とする。また、これからの実習や臨床場面で研究に触れる機会が増えることを踏まえて、研究の基本的な知識を身に付けられるように解説する。なお、授業は動画を通して理解し、その後、メディアを通じたフィードバック等により理解を深める。				
学習上の助言	授業では基本的事項を中心に理解整理するポイントをおさえるので、毎回の丁寧な復習をお勧めする。				
教科書	医療系研究論文の読み方・まとめ方 著：対馬栄輝 出版社：東京図書				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	研究の基本的倫理について理解し、説明できる。			HSU(2)(5)、OT(2)(3)	
②	研究デザインについて理解し、説明できる。			HSU(2)(5)、OT(2)(3)	
③	尺度、基本的な統計解析を理解し、説明できる。			HSU(2)(5)、OT(2)(3)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	臨床研究の倫理指針について学ぶ。	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
2	研究の PECO について理解する。	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
3	研究デザインについて理解する。	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
4	対象と選択バイアスを理解する。	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
5	データ尺度の信頼性、妥当性、尺度の構成法を理解する。	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
6	統計的検定の基礎を理解する。	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
7	統計的解析を読む。(差の検定・分散分析)	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
8	統計的解析を読む。(相関・回帰分析・ χ^2 検定)	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末定期試験において成績評価する。講義で学んだ基本的内容を問うため、講義毎に復習し習ったことを整理しておくこと。				試験後に答案用紙を一時返却し、質疑の機会を設ける。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨する。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更もあり得る。</p> <p>担当教員：◎中西康祐、山鹿隆義（第6・7・8回目担当）</p> <p>教員の実務経験：本科目を担当する教員は作業療法士としての臨床経験に加えて、学術論文を9編以上主筆しており、研究方法については相応の研鑽を積んでいる。</p> <p>実践的授業の内容：論文執筆業務で養われた研究技能を生かして、研究倫理から研究デザイン、統計手法までの幅広い研究法の概略を解説する。</p> <p>卒業研究を希望する学生は必ず受講すること。</p>							